

平成30年7月豪雨による土砂災害への対応について (被災地へ多数の小型油圧ショベルを国土交通省・建設機械メーカーとの協力により派遣)

一般社団法人日本建設機械レンタル協会

今年7月に発生した、平成30年7月豪雨では、西日本において甚大な被害が発生いたしました。発災後、直ちに当協会・角口賀敏会長が国土交通省へ出向き、被災地支援の申し入れを行いました。国土交通省からは、小型油圧ショベルの緊急派遣要請があり、迅速に対応をいたしました。

具体的には、被災地域周辺の会員企業をはじめ、近畿地方並びに九州地方の会員企業及び建機メーカー様からのご協力を得て、7月13日、7月18日、7月26日と3回にわたり広島県、岡山県、愛媛県、高知県に合計59台の小型油圧ショベルを派遣いたしました。この派遣によって、苦勞して手作業で搬出していた土砂等を油圧ショベルの力で搬出ができることとなり、被災地域の迅速な復旧に貢献し、被災地の方々から大変感謝していただいております。

なお、これらの機械は現在も愛媛県、高知県で稼働しており、瓦礫処理や土の搬出作業を継続しております。



油圧ショベルを派遣したことにより、被災地域の迅速な復旧に貢献しました